

## 令和5年10月教育委員会定例会会議録

1 期 日 令和5年10月13日（金） 開会 午後3時30分  
閉会 午後4時23分

2 場 所 旭市役所3階政策決定室

3 出席委員 向後 依明（教育長）  
鈴木 典男（教育長職務代理者）  
鏑木 俊一  
富山 理  
平野 勝久

### 4 出席職員

教育総務課長	向後 稔
学校教育指導室長	臼倉 浩
生涯学習課長	伊藤 弘行
体育振興課長	金杉 高春
教育総務課副課長	江ヶ寄 基道
教育総務課副課長 (学校再編室長兼務)	八馬 裕樹
生涯学習課副課長 (旭市図書館長兼務)	加瀬 美智子
生涯学習課副課長	佐野 唯生
体育振興課副課長	遠藤 敏晴
教育総務課総務班副主幹	加瀬 悦子

### 5 教育長開会宣言

### 6 教育長挨拶

- ・さわやかな風が、肌に心地よく感じられる頃となりました。季節は、まさに「天高く馬肥ゆる秋」です。アウトドアの趣味を楽しんだり、旬の美味しいものを食べたり、皆様にも是非この秋を謳歌していただきたく存じます。
- ・さて、今週9日(日)朝、日本列島の太平洋側に津波注意報が発表され、旭市は午前8時40分、海岸堤防から海側に対して避難指示を発令いたしました。伊豆諸島の鳥島近海を震源とする地震が原因のようでしたが、地震などの天災は「いつ何時」やってくるかわかりません。避難指示は、午後12時15分に解除となり被害等ありませんでしたが、今後も十分注意する必要があると考えております。
- ・行事報告1ページに記載がありますが、その前日の8日(日)干潟学区自主防

災会主催の「避難訓練」を視察して参りました。4年ぶりの開催ではありましたが約450名の参加があったと伺っております。具体的には、房総沖を震源とする震度6弱の大地震を想定し干潟小学校へ避難した後、「防災教育映像の視聴」「地震体験車・はしご車・消防車の放水等の体験」「救命救急訓練」「防災クイズ」「食料の提供訓練」「防災用品の配布」など、干潟小学校及び旭市役所や旭市消防署と連携の基、盛り沢山で大変内容の濃い訓練を実施していました。この訓練で、参加した子どもたちは「生命の尊さ」を学び、参加した全ての方々が、改めて「災害の恐ろしさ」と「日頃の備え」が大切であることを再確認したことと思われまます。併せて「危機管理意識」をより一層高めながら「災害時の対応力」を身に付ける、効果的、実践的な避難訓練であったと感じております。

なお、今回の行事は、教育委員会が推進する「地域学校協働活動」とも言える、地域の活性化に貢献する有意義な活動でもありました。今後も是非、注目して参りたいと考えます。

- ・旭市でも、この15日(日)、文化の杜公園ならびに津波避難施設で「総合防災訓練」を実施いたします。より、多くの市民の皆様の参加を願っております。
- ・続いて、学校訪問についてです。これまで、委員の皆様にご尽力をいただいております学校訪問も、いよいよ後半を迎えます。残すところ中学校3校、小学校4校の計7校となりましたので、引き続きのご指導よろしくお願いいたします。

## 7 会議録署名委員の指名 鏑木 俊一委員 平野 勝久委員

## 8 教育委員会報告

- ・資料により委員会報告及び行事予定を説明する。

## 9 その他

### 【教育総務課長】

- ・令和5年11月から令和6年3月までの教育委員会定例会予定を説明する。
- ・旭市議会第3回定例会一般質問18件について概要を報告する。
- 学校再編推進事業について
  - ・干潟地域において、古城小学校が統合先の候補に上がっているが、屋内運動場が土砂災害特別警戒区域に入っているにもかかわらず、子どもたちを通わせることについての見解を伺う
  - ・今後の学校再編スケジュールの詳細について伺う
- 放課後児童クラブについて
  - ・学校の長期休業中のお弁当支給について検討の進捗を伺う
  - ・学校の臨時休業に連なる形でクラブも休所になる等、就学前児童対象の保育事業に比べ、確実な育成支援が担保されない問題について対応を伺

う

- 部活動の地域移行について
  - ・ 県のガイドラインに基づく令和7年度末を目途とした段階的な部活動の地域移行について、現在までの進捗状況と課題を伺う
- 旭の子どもの教育について
  - ・ 学校給食での食農教育について、学校給食完全無償化と連動させる方策を伺う
- 学校給食費の完全無償化について
  - ・ 学校給食費を第一子から完全無償化にできないか
- 冷水機の設置について
  - ・ 公共施設に冷水機の設置はできないか
- 次亜塩素酸水生成器の導入について
  - ・ 公共施設に次亜塩素酸水生成器の導入はできないか
- 干潟地域の小学校の統合について
  - ・ 干潟地域の3つの小学校を古城小に統合する計画について、市は今後、保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、どのような考えで進めていくのか
  - ・ この統合計画は、何年後を目途に進めていくのか
  - ・ 過疎地域持続的発展計画について、古城小の増築や新たな小学校の建設に対して過疎債を利用できるのか
  - ・ 小学校再編後の跡地利用について、どのように活用するのか伺う
- 中学校の部活動の地域移行について
  - ・ 改革推進期間である令和7年度に向けて、市内各中学校の部活動の現状について伺う
  - ・ 地域移行する場合、指導者や練習場所等が必要となるが、今後の方向性について伺う
- 教育長の所信および見解について
  - ・ 旭市の教育の更なる充実について、市の教育をどのように導いていきたいか教育長の所信を伺う
  - ・ 旭市の教育における課題は何で、具体的にどう対応していこうと考えているのか教育長の見解を伺う
- より信頼される市政運営に向けて
  - ・ 県立中央図書館の建設に伴う、旭市立図書館の今後の計画について伺う。
  - ・ 「給食だより」を配付する。

**【学校教育指導室長】**

- ・ 教育活動の現況報告をする。
  - ① 行事等の状況
  - ② インフルエンザに伴う学級閉鎖等の状況

### ③ ちばっ子学びのデザインシート事業

#### 【生涯学習課長】

- ・「旭市子ども書道大会」について説明する。
- ・「椿海干拓350周年記念 干潟八万石物語」について説明する。

#### 【体育振興課長】

- ・パラ卓球選手育成拠点の設置について説明する。
- ・パラ卓球（肢体不自由者卓球）イベント参加者募集について説明する。
- ・「第19回旭市民駅伝大会」について説明する。

#### 《質疑》

##### 【委員】

- ・議会の一般質問で、宮澤議員の古城小学校の増築や新たな小学校の建設について過疎債を利用できるかという質問について、この辺、あまり教育委員会の会議では出ない問題なので、干潟地区は過疎地域に指定されていて過疎債が使用できることは知っているが、詳しく説明してほしい。

##### 【教育総務課長】

- ・宮澤議員の質問で、古城小の改修工事に過疎地域の過疎債を利用できるのかというご質問に対しまして、統合に伴う小学校の改修工事については、通常、国庫補助金が1/2つきますが、これが過疎地域ですと特例加算がありまして、補助金の方が5.5/10となり5%補助金が多くなります。更に残りの部分4.5/10につきましては、全額過疎債を借り入れることができます。通常、他の起債だと充当率100%のものはなかなかありません。例えば、4.5/10の金額の、多くて70%が起債で借りられる程度です。多く借りることができて、更にその借りたお金を返す元利償還金の70%が地方交付税で充当されますので、返す金額の7割が交付税で国から来るので、要は、4.5/10の更にその3割分が、実質的な市の負担ということですので、かなり市の負担が少なくて建設できることになります。

##### 【委員】

- ・教育活動の現況報告について、「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」は、どんなことをやるのか。PDCAサイクルを構築すると書いてあるが、詳しく説明してほしい。学力状況調査のような問題に答える形なのか、全く違ったものなのか、その辺を教えてください。それと、実施期間があるが、学力学習状況調査のような問題ではないと思うが、塾で話題になって問題を教えてしまうこと等あっても問題ないのか。

### 【学校教育指導室長】

- ・「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」についてお答えします。  
まず問題ですが、令和4年度の調査問題を見ると、ロケット玉入れを作るような問題で、そのロケット玉入れをどのような力で動くようにするかを考えるような問題です。これですと、理科と図工を合わせたような問題で、いろいろこれまで学んだことを使って問題を解いていこうとする力を高める問題となっています。
- ・PDC Aサイクルのことですが、児童生徒向けにつきましては、テスト結果を個人票で確認し、そこに書かれた今後の学び方、学習に向けてのアドバイスを見て、自分の学習の仕方を振り、自分にはこんな学び方がいいんじゃないかと、それを基に自分の学習の仕方を改善していく。改善してやってみて、またテストをし、更に改善してやってみてというサイクルを作っていこうというものになります。
- ・教員向けでは、学年別の集計結果を見て自分の指導の仕方を見直し、それにより、自分にはこんな指導の傾向があるのだということをつかみ、授業改善に生かして子どもを指導して、またテストし、結果を見て授業改善をしていくというサイクルを作っていこうというもので、それらがこちらに載っているダブルアクションということで聞いております。
- ・また、実施可能日ですが、こちらに県から示されておりますのは記載の期日の中で学校の実施可能日で行うということとして、タブレットを使う関係からも通信の容量等もある関係で、なかなか同時に行うのは難しいというように聞いています。

### 【委員】

- ・半分位は分かってきましたが、まだよくわからないので、やってみて我々に情報を教えられるものがあつたら、1月24日が最終日だと思うので、その後どのようなものを作ってどういう風に活用できたかというのを、また教えていただけるとありがたいです。

### 【委員】

- ・生涯学習課の報告の書道大会に関してですが、子ども会は全く手を引いているのか、申し込みはどのような形で子どもたちに配布しているのか。また、初めてなので集め方でだいぶ人数が違ってくると思うが、どういう形で募集をするのか教えていただきたい。

### 【生涯学習課長】

- ・子ども書道大会の関係で、子ども会は手を引いているのかということですが、子ども会の書初展を毎年1月に行っていましたが、少子化の影響で子ども会自体が60数クラブという現状にあります。以前は400から500点作品が

集まっていたのですが、今年は130点程しか集まらず、だんだん下火になってきたことから何とかしてもらいたいというような話がありました。

一方、子どもの書初め講座を公民館でやっていますが、昨年は20名で募集したところ40名の申し込みがあり、40名を受け入れて行いました。今年は、40名を受け入れて、干潟地域で20名、飯岡地域で20名に分けてやっています。そのような状況から、書道に対する関心はかなりあるということがわかります。

そこで、子ども会と相談し、何か違う形で書初めを残していこうということになり、市で実施している書道の講座だけでなく、子どもたちを集めて実施してみてもどうかということになりました。最初、高校生の書道のパフォーマンスを見せようと計画したのですが、生徒の試験の都合等で叶わず、今回、旭で活躍している爆風さんに打診したところ、快く引き受けてくれましたので、このパフォーマンスを入れて実施してみようということになりました。一度やってみて、来年また、どうするか検討していこうと思っています。

- ・募集方法ですが、書道を教えている先生方に指導者になっていただきます。生徒さん方も参加されるので、ある程度は集まるのかと考えています。また、学校に周知を依頼しており、その他にも広報やSNS等で募集をしています。

#### 【委員】

- ・議会の一般質問について、井田孝議員の学校再編の質問なんですが、短い文章ではわからない部分があって、井田議員は統合にはそもそも反対なのか、あるいは代替案でもあるのか、質問の意図を教えてください。

#### 【教育総務課長】

- ・井田議員の質問は、古城小学校の屋内運動場が土砂災害警戒区域に入っているのですが、そういう状況で統合校にしていけるのかというようなことで、特に反対というわけではなく、子どもたちの安全性を考えてどういう状況なのかというようなご質問でした。

回答としましては、学校再編計画策定委員会の中で、干潟地域の小学校を統合する場合に、干潟地域はいちばん児童数の減少が激しいことから、すぐにも統合しないと複式学級が発生してしまう可能性があることについて、今ある施設を活用して統合を進めるということを考えて場合に、萬歳小学校と中和小学校は全域が土砂災害警戒区域に入っているのですが、古城小学校については体育館のみが土砂災害警戒区域に入っていることから、その中で安全性や面積の広さ等を考え、古城小学校が候補地に挙がりました。

今、各小学校で地域検討会議等を行っておりまして、その中でも土砂災害警戒区域についてはいろいろ話題になり議論しているところですが、古城小学校の土砂災害警戒区域については、昭和48年、49年頃に土砂災害の対策工事をしている状況です。ただ、それから50年近く経っていて、現状は木

や雑草や竹が繁茂し、状況がわからないので、それらを伐採して現地の状況を確認してみる必要があります。所管する県の北部林業事務所の方では、来年度伐採して状況を見て対策工事をする予定です。その他、市でできる対策工事についても、検討を重ねているところでもあります、というような回答をしております。

**【委員】**

- ・先ほど質問があった「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」についてですが、千葉県だけでやるということですね。「社会で求められる学力を想定した」とありますが、社会で求められる学力というのは、どのようなものを想定しているという表現はないのですか。

**【学校教育指導室長】**

- ・今、学校で取り組んでおりますのが、思考し、表現をする仕方を育てる授業ということで、自分で課題を見つけて、授業で言いますと、例えば算数などでは、課題を考えた中でその解き方をまず個人で解いてみます。個人で解いた後にグループで集まって、自分の解き方をグループ内で話し合いながら、より良い解き方を見つけていくような形の授業形態がとられています。そうした中で、自分で考えたことをお互いに伝えながら考えを深めていくという学習をしています。先ほどお話ししましたが、思考する力をつけておりますので、そうした力がこれからの社会で求められていく力かと、こちらの方では考えております。

**【委員】**

- ・それは県からそういった文章表現では出ていないということですか。

**【学校教育指導室長】**

- ・「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」については、目的等でも「これからの社会に求められる学力を想定した教科横断的な問題」ということで示されておりまして、詳細な内容についての資料等は、今後確認して参ります。

**【委員】**

- ・「ちばっ子学びの未来デザインシート事業」の問題というのは、終わった後に公開されるのですか。

**【学校教育指導室長】**

- ・手元にある資料は先ほどお話ししたもの一問ですが、千葉県のホームページにサンプルが示されております。

#### 【委員】

- ・そうすると、こういった問題にA I に対応することもこれから考えられます。実際、学校での試験時にはできないでしょうが、問題が公開された後にA I を活用して、ということもこれから出てくるようなことも想定されます。そのようなこともあるという想定と対策も含めて、県の方で考えていく必要があると思います。

#### 【委員】

- ・先ほどの過疎債の話ですが、過疎債を使えるので、古城小学校の耐用年数を過ぎた辺りを早めに試算して、新しい小学校、中学校もあり得るのかと思いますが、いかがですか。

#### 【教育総務課長】

- ・過疎債につきましては年限が決まっております、延長になる可能性もありますが、令和3年度に過疎地域の指定を受けてから10年間(令和12年度末まで)となります。また、新設の場合も過疎債が使えるということです。新設ですと、北統合中学校(干潟地域と旭の北の地域)で一つの中学校新設という計画になっていますが、それについても、干潟地域に建設となれば、当然過疎債が使えますので検討しているところです。

#### 【教育長】

- ・次回の教育委員会定例会は、11月16日(木)午後3時に開会することに決定します。

### 10 教育長閉会宣言